

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 4 月 23 日 (2020.4.23)

【公開番号】特開 2020-28572 (P2020-28572A)

【公開日】令和 2 年 2 月 27 日 (2020.2.27)

【年通号数】公開・登録公報 2020-008

【出願番号】特願 2018-156949 (P2018-156949)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 3 月 11 日 (2020.3.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

少なくとも前記有利状態に制御される確率が異なる有利設定値と不利設定値とを含む複数段階の設定値に設定可能な設定手段と、

前記有利状態に制御することを判定するための判定用乱数値を生成可能な判定用乱数値生成手段と、

前記判定用乱数値生成手段にて生成された判定用乱数値と、前記設定手段にて設定されている設定値に対応する有利状態判定値と、にもとづいて、前記有利状態に制御することを判定する有利状態判定手段と、

前記有利状態判定手段によって前記有利状態に制御すると判定されたことにもとづいて前記有利状態に制御可能であり、前記有利状態に制御すると判定される確率が、設定値に対応する前記有利状態判定値の数である通常数に対応した通常状態または前記有利状態となることにもとづいて前記通常数に対して増加された前記有利状態判定値の数である特別数に対応した特別状態に制御可能な遊技制御手段と、

設定に関する示唆を行う設定示唆演出を実行可能な設定示唆演出実行手段と、

を備え、

前記有利状態判定値の数が設定値に応じて異なることにより、前記有利状態に制御される確率が異なり、

前記有利状態判定値は、所定の数値範囲において、前記設定手段にて設定可能な前記複数段階の設定値で共通の共通数値範囲が少なくとも設定されており、

前記有利設定値の前記有利状態判定値は、前記所定の数値範囲において、前記共通数値範囲と、前記不利設定値の前記有利状態判定値では設定されていない非共通数値範囲と、を含んで設定されており、

前記共通数値範囲と前記非共通数値範囲とは、所定基準値から連続した数値範囲となるように設定されており、

前記有利状態判定値は、前記所定の数値範囲において、前記通常状態と前記特別状態において、前記所定基準値から連続した数値範囲となるように設定されており、

前記設定示唆演出実行手段は、前記特別状態に制御された場合に連続して前記有利状態に制御されたときに実行された特定演出に応じて、前記設定示唆演出を実行可能である、ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

(A) 上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、少なくとも前記有利状態に制御される確率が異なる有利設定値と不利設定値とを含む複数段階の設定値に設定可能な設定手段と、

前記有利状態に制御することを判定するための判定用乱数値を生成可能な判定用乱数値生成手段と、

前記判定用乱数値生成手段にて生成された判定用乱数値と、前記設定手段にて設定されている設定値に対応する有利状態判定値と、にもとづいて、前記有利状態に制御することを判定する有利状態判定手段と、

前記有利状態判定手段によって前記有利状態に制御すると判定されたことにもとづいて前記有利状態に制御可能であり、前記有利状態に制御すると判定される確率が、設定値に対応する前記有利状態判定値の数である通常数に対応した通常状態または前記有利状態となることにもとづいて前記通常数に対して増加された前記有利状態判定値の数である特別数に対応した特別状態に制御可能な遊技制御手段と、

設定に関する示唆を行う設定示唆演出を実行可能な設定示唆演出実行手段と、を備え、

前記有利状態判定値の数が設定値に応じて異なることにより、前記有利状態に制御される確率が異なり、

前記有利状態判定値は、所定の数値範囲において、前記設定手段にて設定可能な前記複数段階の設定値で共通の共通数値範囲が少なくとも設定されており、

前記有利設定値の前記有利状態判定値は、前記所定の数値範囲において、前記共通数値範囲と、前記不利設定値の前記有利状態判定値では設定されていない非共通数値範囲と、を含んで設定されており、

前記共通数値範囲と前記非共通数値範囲とは、所定基準値から連続した数値範囲となるように設定されており、

前記有利状態判定値は、前記所定の数値範囲において、前記通常状態と前記特別状態において、前記所定基準値から連続した数値範囲となるように設定されており、

前記設定示唆演出実行手段は、前記特別状態に制御された場合に連続して前記有利状態に制御されたときに実行された特定演出に応じて、前記設定示唆演出を実行可能である、ことを特徴とする。

(1) 上記目的を達成するため、本願発明の他の態様に係る遊技機は、

遊技者にとって有利な有利状態（例えば大当り遊技状態など）に制御可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機 1 など）であって、

遊技者にとっての有利度が異なる複数の設定値（例えば遊技者にとって最も不利な設定値である 1 から遊技者にとって最も有利な設定値である 3 までの値など）のうち何れかの設定値に設定可能な設定手段（例えば図 8 - 13 の設定値変更処理を実行する CPU 103 など）と、

遊技を進行可能な遊技制御手段（例えば CPU 103 など）と、

設定に関する示唆を行う設定示唆演出を実行可能な設定示唆演出実行手段（例えば図 9 - 11 のエンディング演出処理や図 9 - 12 のエンディング演出開始処理を実行する演出制御用 CPU 120 など）と、

前記有利状態に制御するか否かを決定する決定手段（例えば図5のステップS110にて特別図柄通常処理を実行するCPU103など）と、

前記有利状態の終了後に、前記決定手段が前記有利状態に制御すると決定する割合が低確率状態（例えば通常状態、時短状態など）よりも高い高確率状態（例えば確変状態など）に制御可能な遊技状態制御手段（例えば大当り遊技状態が終了した後に、大当り種別に応じて、確変状態に制御するCPU103など）と、

前記高確率状態において、前記決定手段が前記有利状態に制御すると決定したことに基づいて所定の数値データ（例えば確変大当り発生カウント値など）を更新可能な数値更新手段（例えばステップ051AKS106の処理を実行するCPU103など）と、

前記所定の数値データが特定値（例えばリミット到達判定値など）となったことに基づいて、前記低確率状態に制御可能であり（例えば図9-6の大当り終了処理を実行するCPU103など）、

少なくとも前記高確率状態に制御されてから前記所定の数値データが前記特定値となるまでの特定期間において実行された特定演出（例えば大当り図柄の停止表示など）に応じて、前記設定示唆演出を実行可能である（例えば図9-11のエンディング演出処理や図9-12のエンディング演出開始処理を実行する演出制御用CPU120など）、

ことを特徴とする。